

英語科学習指導案

日時	平成15年9月9日(火) 5校時	学級	3年4組40名(男子24名、女子16名)
場所	見前南中学校 3年4組教室	授業者	菅原 文江

1 単元名

Unit 4 An American Rakugo-ka (NHEC Book3)

2 単元の目標と言語材料

- (1) 落語の楽しさや、英語の落語のユニークさなどを本文から読み取ることができる。
- (2) 「疑問詞 + to+動詞の原形」の文の形・意味を理解し、適切な場面で使うことができる。
- (3) 「It is ... (for+人) + to+動詞の原形」の文の形・意味を理解し、適切な場面で使うことができる。

3 単元について

Unit 4では、落語についての題材を扱う。外国人とのコミュニケーションを図るには、外国の言語や文化を知るだけでなく、自国の文化を理解し説明する力も必要である。この題材は、日本の古典芸能である落語についての理解を深める内容となっている。

S.O.では、日本文化紹介のパンフレットという設定で、落語における扇子の使い方を知る。本時で扱うDialogは、健の家にカナダ人のエレンが滞在することになり、週末の予定を立てる場面である。健とエレンの会話から、生徒は英語で語られる落語があることを知る。そして次ページのReadingは、2人が聞きにいった英語の小話である。落語家ビル・クラウリーの小話は、異文化理解をテーマにした内容であり、生徒にも興味深い内容だと考えられる。

4 単元の評価規準(別紙)

5 生徒について

この学級の生徒たちは、英語に興味を示しており、会話にも意欲的に取り組む。しかし、定期テストや実力テスト等の結果を他学級と比較して見ると、特に英語における男女の学力差が大きい。女子は英語を得意としている生徒が多い一方、男子は英語への取り組みが弱い生徒や国語の学習も困難な生徒を含む、低位の生徒が数名おり、指導に工夫が必要な学級である。

英語を苦手としている男子生徒が多いが、授業には集中して取り組んでおり、挙手も男子のほうが多い。また低位の男子でも、音読や会話練習など声を出すことにはそれほど抵抗がない生徒が多いので、そのやる気を大切にし、積極的な態度をほめて自信を持たせるように努力している。学力差に関しては、ペアワークを中心に授業を組み立てていき、教え合いによって全体のレベルを引き上げていきたいと考えている。

単元の事前テストの結果からみると、不定詞の形(toの後ろが動詞の原形になること)については、40名中31名が理解しているが、「～すること」という意味で使われること(名詞的用法)については22名しかできておらず、「～するために」という意味(副詞的用法)では理解できている。基本的な形容詞(easy, important, など)はおおむね理解できている。代名詞の目的格(him, her, them, など)があやふやな男子生徒が多く、代名詞を使う機会を増やしていかなければならないと考えている。

6 「基礎・基本の確実な定着」を図るため留意していること

1年生から教科担任として関わってきた学年であるが、1・2年生の時はinputに力を入れて指導してきた。学習指導要領に示された「英語」の目標では、「英語に慣れ親しむ」ことがあげられている。また、基礎・基本の定着についても、生徒がどれだけ英語に触れ、慣れ親しんでいるかが重要であり、このことがその後の学習の定着につながると思う。生徒たちは日常生活で英語を聞く機会がほとんどないため、普段の授業で私が教室英語を可能な限り多く使う、教科書CDや英語のチャンツ等をプレイヤーで絶えず流す、業間の時間にも英語の歌を流すなどの工夫をしてきた。さらに今年の2学期からは、他の先生方の理解をいただき、朝の登校時間の校内放送を利用して全校inputに取り組んでいる。

また、日常の指導で留意していることは、定着を図るために、練習回数を多くすることである。本文の音読では生徒が飽きずに繰り返すように工夫をし、対話文などは暗唱させるようにしている。重要文は、穴埋めのようなプリントは用いず全文をノートに書かせるようにし、新出文の学習後は、書く量が多めの問題プリントを課題にしている。説明を少なくし、練習を多くさせるように心がけている。

3年生としてまとめの時期を迎えている今、inputの工夫に加えて力を入れているのはoutputで、3年間の復習である。基礎・基本の確実な定着を図るには、覚えたたくさんの表現を、いかに何回も「引き出しから出させるか」が重要と考え、現在の会話練習を行っている。新出の学習内容を次々に会話練習に加えていき、会話練習は書く活動にもつなげるようにしている。また定期テストの際は面接テストを実施して評価し、個人で英語を話す度胸もつけさせたいと考えている。

7 本時について

(1) 指導計画 (Unit 4・・・8時間扱い)

- ①S.O. (p.44) 落語の特徴、疑問詞+不定詞を用いた文・・・2時間
- ②Dialog (p.45) It is ... (for+人) + to+動詞の原形の文・・・2時間 (本時1/2)
- ③Reading (p.46-47) 英語の小話・・・2時間
- ④本文の復習、Your Turn (p.48)、Listening Plus 4 (p.49)・・・1時間
- ⑤Unit 4まとめ、単元テスト・・・1時間

(2) 指導にあたって

本時は、「It is ... (for+人) + to+動詞の原形」の文を学習する。不定詞の名詞的用法は2年生で既出であるが、この文型は初出である。3年生では、Unit 3で不定詞の形容詞的用法、副詞的用法(原因)を学習し、そこでも不定詞の復習をしている。このUnit 4のS.O.では「疑問詞+不定詞」と本時の文型を扱うが、不定詞の文型を学ぶ3年間で最後の題材である。

本時の重要文は、不定詞が「～すること」の意味になっていることを再確認しながら、決まった型として覚えさせたい。本文が初歩的な会話になっているので、本文の内容理解と音読から入り、新出文の形に慣れさせる。音読では低位生徒に配慮し、ペアでの練習を中心に行わせる。文強勢などに注意させながらRead and Look upを行い、暗唱させる。暗唱した本文を用いて、最後に新出文の説明と練習を行う。説明は最小限にし、問題練習の時間を確保したい。

(3) 本時の目標

- ①「It is ... (for+人) + to+動詞の原形」の文の意味を理解している。〈聞くこと〉
- ②本文を暗唱し、場面を思い浮かべながら言うことができる。〈読むこと〉

(4) 本時の評価規準と判断基準

	評価規準(観点)	評価場面(方法)	Aの状況例	Bの状況例	Cへの手立て(支援)
聞くこと	・「It is... (for) + to動詞の形」の英文の意味を理解している。(理解の能力)	・本文の聞き取りをする場面(教師による観察、発言、ワークシート)	・本文のC Dを聞いて、エレンのセリフの内容を日本語で正確に言うことができる。	・本文のC Dを聞いて、健とエレンの会話の概要を言うことができる。	・絵に着目させ、健とエレンの会話の概要を予測させる。 ・つまづいている単語について説明を加える。
読むこと	・本文の場面に合った表現を工夫しながら音読しようとしている(表現の能力)	・ペアで役割練習をする場面(教師による観察) ・Read&look upで英文を言う場面(指名、教師による観察)	・聞き手に内容を伝えられる場面(表情や方法を工夫している)	・ほぼ正確な発音、イントネーション、リズムで音読ができる。	・机間指導をして読めない単語について援助する。 ・暗唱できない生徒には教師が口形で援助し慣れるまで何回か言わせる。

(5) 本時の展開

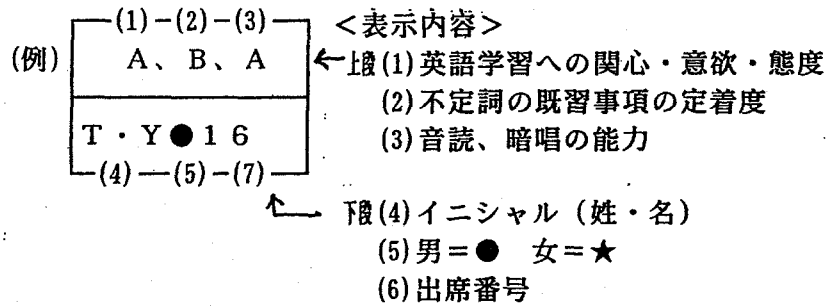
段階	学習内容(教師の支援)	生徒の活動	指導上の留意点
事前 5分	0 ノート点検(予習点検) 重要語句を板書しておく。	0 本文の視写と単語の意味調べを提示する。	0 英語の歌をBGMに英語の雰囲気を作る。
導入 15分	1 挨拶 T: What's up? 2 会話練習(Rapid Fire) カードの内容を応用して既習事項を用いた質問を出す。指名して、カードを渡す。 3 本文の聞き取り 1)プリント配布、CDをかける 2)P・Cを提示しCDをかける 3)プリントの解答を確認する 4)CDに合わせて本文を解説し内容を再確認させる	1 挨拶 P: Not much. 2 会話練習 挙手して答え、もらったカードの質問と答えをノートに取る。→カードを交換 3 本文の聞き取り 1)P・Cを見ながらCDを聞く 2)質問に答え概要を確認 3)本文の詳細をつかむ 4)教師の解説を聞き、本文の内容、場面を再確認する	1 授業に集中させ、リラックスして声を出させる 2 励まして挙手させる。文でくわしく答える。答えの文強勢に注意。 3 教科書を閉じて 1冊 聞くことに集中 2冊 プリントQ(1)~(3) 3冊 プリントQ(4)~(6) 4冊 低位の生徒が内容を把握できるように。
展開 30分	4 本文の音読 1)語句の意味と発音 2)本文の音読(一斉)1回 3)本文の音読(ペア)2回 4)本文の暗唱(Read and look up) 個々に指名する。 5)暗唱の確認(一斉) 5 新出文型の練習 1)本文の中の新出文を取り出し、口頭練習をさせる 2)板書し説明を加える 3)問題プリントを配布する机間巡視し質問をとる	4 本文の音読 1)語句の意味と発音練習 2)教師の後について音読 3)ペアで教えあって練習 4)Read and look upをしながら、本文を暗唱する。 5)本文を通して暗唱する。 5 新出文型の練習 1)口頭練習をしながら文の形と意味をつかむ。 2)重要文をノートに取る 3)問題練習に取り組む。必要に応じて質問をする。	4 1) chunkとして用法を教える。 3) 役割練習 4) 1文ごとではなく、セリフごとに区切る。文強勢に注意させる。 5 新出文型 1) パターン練習 ・ 形容詞、代名詞 交換 ・ for(人)がない場合
終末 5分	6 自己評価カードの配布と家庭学習の課題指示 7 挨拶 T: See you tomorrow!	6 自己評価を記入する。今日の課題を確認する。 7 挨拶	6 取り組みの評価と学習内容の評価。 課題: 問題プリント

(6) 本時の評価

- ①「It is ... (for+人) + to+動詞の原形」の文の意味を理解できたか。
- ②本文を暗唱し、場面を思い浮かべながら言うことができたか。

[資料 1]

3年4組座席表



【芳村氏】 4 単元の評価規準

単元名 Unit4 An American Rakugo-ka

単元の目標	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
Unit4 An American Rakugo-ka ○落語の楽しさや英語の落語のユニークさを本文から読み取ることができる。 ○不定詞の特殊な用法(疑問詞+to不定詞、It is...to不定詞)を理解し、適切な場面で使うことができる。	「聞くこと」			
	(言語活動への取り組み) ・教師やCDの英語を聞いて、うなずいたり、返答しようとしたり、メモを取ったりするなど、題材内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) ・理解できないところがあっても、推測したり聞き返したりするなどして聞き続けている。		(正確な聞き取り) ・聞いた内容について正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) ・自然な口調で話されたり読まれたりした内容を聞き取ることができる。	(言語についての知識) ・不定詞の特殊な用法を含んだ英文の意味を知っている。 (文化についての理解) ・落語や、他の日本の伝統芸能について理解している。
	「話すこと」			
	(言語活動への取り組み) ・間違いを恐れずに英語で積極的に話している。 (コミュニケーションの継続) ・つなぎ言葉を使ったり、言い換えたりするなどして、不自然な沈黙をせずに話し続けている。	(正確な発話) ・話そうとすることを聞き手に正確に伝えることができる。 (適切な発話) ・自然な速さや適切な声の大きさで話すことができる。		(言語についての知識) ・不定詞の特殊な用法を含んだ英文の構造を知っている。 (文化についての理解) ・落語や、他の日本の伝統芸能について理解している。
「読むこと」				
(言語活動への取り組み) ・本文の内容に興味・関心を持ち、内容を理解しようと意欲的に読んでいる。また、場面に合った表現を工夫しながら音読しようとしている。 (コミュニケーションの継続) ・意味のわからない表現が出てきたときでも、前後関係から意味を推測したり辞書を使ったりして最後まで読み進めようとする。また、聞き手に意味がよく伝わるように音読しようとしている。	(正確な音読) ・正確な発音や適切なイントネーションで本文を音読することができる。 (適切な音読) ・聞き手に本文の内容を伝えられるように、場面に合った適切な表現方法を工夫して音読することができる。	(正確な読み取り) ・本文の内容を正確に読み取ることができる。 (適切な読み取り) ・落語の文化的な場面や日英の表現上の違いなどを読み取ることができる。	(言語についての知識) ・英語の個々の音や文のイントネーション、場面に応じた強調の仕方などを正しく発音する知識がある。 (文化についての理解) ・落語の文化的な側面や、日英の言葉の使用法の違いなどを理解している。	

	「書くこと」			
	<p>(言語活動への取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れずに、伝えたいことを英語で積極的に書いている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現できないことがあっても、既習の語句や表現で言い換えたり、辞書で調べて新たな表現を使ったりしながら、伝えたいことを意欲的に書こうとしている。 	<p>(正確な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容を正確な表現を使って書き表すことができる。 <p>(適切な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容をもっとも効果的に伝えられるように表現を工夫して書くことができる。 		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の特殊な用法を含んだ英文の構造を知っている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語や、他の日本の伝統芸能について理解している。
単 元 の 目 標	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>Listening Plus4 落語家ビル・クラウリー</p> <p>○話題となっている人物に興味・関心を持ち、その人のことをよりよく知ろうとする。</p> <p>○有名人へのインタビューの質問文を作ったり、インタビューを聞いて具体的な内容や大切な部分を聞き取ったりメモを取ったりすることができる。</p>	「聞くこと」			
	<p>(言語活動への取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師やCDの英語を聞いて、うなずいたり、返答しようとしたり、メモを取ったりするなど、題材内容に関心をもっている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解できないところがあっても、推測したり聞き返したりするなどして聞き続けている。 		<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いた内容について正しく聞き取ることができる。 <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然な口調で話されたり読まれたりした内容を聞き取ることができる。 	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取るべき内容が話される部分はどのような文や語句・表現で言われるかを、あらかじめ予想できている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語や、他の日本の伝統芸能について理解している。
	「話すこと」			
	<p>(言語活動への取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れずに英語で積極的に話している。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題内容を理解し、不自然な沈黙をせずに話し続けている。 	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話そうとすることを聞き手に正確に伝えることができる。 <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然な速さや適切な声の大きさで話すことができる。 		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容を話すための語句や文の使い方を知っている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語や、他の日本の伝統芸能について理解している。

[資料 2]

本時の授業プリント

パターン	It ~ to ... (2)	時間 20分
仮の主語	(人) 動詞原形	得点
■ It is important for us to study English.	(私たちに) 私たちが英語を勉強することは重要です。	/100

1 次の各文の意味を書きなさい。(5点×4)

- It is easy for us to speak Japanese.
()
- It's hard for him to read English.
()
- It's difficult for Ken to get up early.
()
- It's interesting for her to play basketball.
()

2 日本語と同じ意味の英文になるように、語句を正しくならべかえなさい。(8点×5)

- 彼らがフランス語を理解するのは難しい。
(difficult / them / French / it / for / to / is / understand).

- 彼には写真をとることがおもしろい。
(interesting / to / it's / take / for / pictures / him).

- 私には音楽を聞くことが楽しい。
(fun / music / for / it / listen / me / to / to / is).

- 私の母にとって天ぷらを料理することは簡単です。
(easy / cook / my mother / it's / to / tempura / for).

- 私達が他の文化について学ぶことは重要です。
(important / other cultures / for / about / it's / us / learn / to).

3 次の日本語をIt-を使った英文にかえなさい。(10点×4)

- 私には英語を書くのは難しい。

- 健がコンピュータを使うのはとても簡単です。

- 私達にとって毎日勉強することは大切です。

- 彼らにとってその本を読むことは興味深い。

パターン	It ~ to ... (2)	時間 20分
仮の主語		得点
■ It is important to study English.	英語を勉強することは重要です。	/100

1 次の各文の意味を書きなさい。(5点×4)

- It is easy to watch TV.
()
- It's hard to say "I'm sorry".
()
- It's difficult to write a letter in English.
()
- It's important to sleep well.
()

2 日本語と同じ意味の英文になるように、語句を正しくならべかえなさい。(8点×5)

- その機械を使うのは簡単ではない。
(not easy / the machine / to / is / use / it).

- 自転車に乗るのはとても簡単です。
(easy / ride / very / a bike / it's / to).

- 友達と話すのは楽しい。
(fun / it's / friends / talk / to / with).

- 外国語を習得することは大切です。
(important / it's / foreign languages / learn / to).

- その質問に答えることは少し難しかった。
(difficult / answer / was / the question / it / to / a little).

3 次の日本語をIt-を使った英文にかえなさい。(10点×4)

- テニスをするのは簡単です。

- 韓国語(Korean)を読むのは簡単ではない。

- 良い友達を持つことは大切です。

- 点字(braille)を習うことはおもしろかった。

[資料3]

Unit 4 事前テスト

August, 2003

<Unit 4 事前テスト>

1. 次の単語の意味を書きなさい。

- (1) easy _____
- (2) difficult _____
- (3) important _____
- (4) fun _____
- (5) interesting _____
- (6) hard _____
- (7) exciting _____

2. 日本語に合うように、空欄に入る単語を書きなさい。

(例) 菅原先生が 私に(私のため) 本を買ってくれた。
Ms. Sugawara bought a book for me.

- (1) 菅原先生が 彼に(彼のため) 本を買ってくれた。
Ms. Sugawara bought a book for _____.
- (2) 菅原先生が 彼女に(彼女のため) 本を買ってくれた。
Ms. Sugawara bought a book for _____.
- (3) 菅原先生が 彼らに(彼らのため) 本を買ってくれた。
Ms. Sugawara bought a book for _____.
- (4) 菅原先生が 私達に(私たちのため) 本を買ってくれた。
Ms. Sugawara bought a book for _____.
- (5) 菅原先生が トムに(トムのため) 本を買ってくれた。
Ms. Sugawara bought a book for _____.

<アンケート>

自分のことを考えて、次の文の空欄に、ピッタリくることばを入れてください。

- (1) _____ (する) のは、むずかしい。
- (2) _____ (する) のは、かんたんだ。
- (3) _____ (する) ことは、重要だ。
- (4) _____ (する) ことは、楽しい。
- (5) _____ (する) ことは、おもしろい。
(興味深い)

play を使う練習

原形	現在形	過去形	過去分詞	ing形
play (スポーツ, 演劇)	play 3単 _____			

- (1) 私は昨日 サッカーをしました。
I () () soccer yesterday.
- (2) 私は昨夜10時に ピアノを弾いていました。
I () () the piano at ten last night.
- (3) 私は野球をするのを(好きに)楽しみました。
I enjoyed () () baseball.
- (4) 私はゴルフをしたい。
I want () () golf.
- (5) 健は テニスをするために 公園へ行きました。
Ken went to the park () () tennis.
- (6) 私は テニスをするのが(好きに)好きです。
I like () () tennis.
- (7) ドラムを弾くことは とても難しい。
() () the drums is very difficult.
() () the drums is very difficult.
- (8) スポーツをしなさい。
() () some sports.
- (9) ゲームをするな。
() () games.
- (10) 私は毎日 ギターを弾きます。
I () () the guitar every day.
- (11) 彼女は毎日 ピアノを弾きます。
She () () the piano every day.
- (12) 私は今、ゲームをしています。
I () () a game now.
- (13) 私は明日 サッカーをするつもりです。
I () () soccer tomorrow.
I () () () () soccer tomorrow.
- (14) 私はピアノを弾かなければなりません。
I () () () the piano.
I () () () the piano.
- (15) トムは、ギターを上手に弾くことができます。
Tom () () the guitar well.
- (16) バレーボールは12人でプレイされます。
Volleyball () () by twelve players.
- (17) 私は6年間ずっと サッカーをしています。
I () () soccer for six years.
- (18) 私はちょうど ギターを弾いたところです。
I () () just () the guitar.

9th grade, Class _____ No. _____ Name: _____ Score /18

[資料 4]

会話練習について

<会話練習 (Rapid Fire) について>

- ・昨年度から継続して実施。簡単な挨拶から始めた。(Thank you. -You're welcome. など)
- ・質問カードの内容は、
自分に関わる質問 (これが半数)、重要文を用いた質問、基本的な慣用表現、
本文や新出語句に関わるクイズ、説明をするもの、などがある。
(昨年1学期までいたALTの残したカードは財産になっている)
- ・授業の始めに復習として行う。カードを受け取った生徒はノートに取り、他生徒とカードを交換して、定期テスト範囲の質問を書きためていく。(プリント提示しない)
- ・出題は教師1人の場合とTTで教師2人の場合がある。テスト前は、ペア練習の形をとり、互いに質問し合って練習させている。
- ・答え方より答える内容を重視してきたが、3年生としてさらに気をつけているのは、
答えを「文」で言うこと、できるだけくわしく、答えの文強勢、である。
- ・2学期は、3単現のSや代名詞の復習のため、カードの質問を応用して出題している

* 2年生3学期末の会話テスト<範囲: 2学年の学習内容から50問>

反応の訓練として、1分間で何問に答えられるか、解答数によって採点。

(10問以上A、5問以上B、4問以下C)

* 3年生1学期末の会話テスト<範囲: 下記の40問>

一人につき5問出題→自分に関わる質問3問、その他1問、説明するもの1問。

(5段階で採点: 詳しく誤りなく答える5点、質問に反応できる3点)

* 2学期中間テストは、1学期の範囲の応用と、新しい16問を範囲とする予定。

(3年生の終了時には、全部で80問を範囲としたい)

会話テスト用 Q & A <1学期期末 (~Unit2) >

Q (カードの表)

- 1 May I have your name?
- 2 Where are you from?
- 3 How old are you?
- 4 When is your birthday?
- 5 What do your friends call you?
- 6 What school do you go to?
- 7 What grade are you in?
- 8 What club are you in?
- 9 How do you go to school?
- 10 How many students are there in your class?
- 11 What do you want to buy?
- 12 What's your favorite subject?
- 13 What sports do you like the best?
- 14 Which do you like better, summer or winter?
- 15 What kind of movies do you like?
- 16 Are you interested in action games?
- 17 Is your pencilcase cheap or expensive?
- 18 What makes you happy?
- 19 Have you lived in Morioka for 14 years?
- 20 How long have you studied English?

→A (カードの裏) 解答例

- My name is _____.
- I'm from Nagai, Morioka.
- I'm fifteen years old.
- It's November 24th.
- My friends call me Fumie.
- I go to Mirumae-minami JHS.
- I'm in the ninth grade.
- I'm in the soccer club.
- I go to school by bike. / I walk to school.
- There are 40 students.
- I want to buy a CD.
- It's P.E..
- I like baseball the best.
- I like summer better.
- I like science fiction movies.
- Yes, very much. / Not at all.
- It's cheap. It's about 200yen.
- Sunday makes me happy.
- Yes, I have. / No, _____.
- I have studied it for 2 years.

- 21 Do you know Mr. Noda?
- 22 What day is today?
- 23 What month comes between May and July?
- 24 What is the capital of Japan?
- 25 Where is Morioka?
- 26 Which is larger, Turkey or Japan?
- 27 Is English spoken in Japan?
- 28 Are chopsticks used in America?
- 29 What is your textbook made of?
- 30 Was braille invented by a Japanese?

- Of course. He's my science teacher
- It's Wednesday.
- June.
- It's Tokyo.
- It's in the center of Iwate.
- Turkey is. It's about twice as large as
- Yes, it is. I can speak it a little. Japan.
- No, they aren't. They are used in Japan.
- It's made of recycled paper.
- No, it wasn't. It was invented by
- a Frenchman.

- 31 Can I borrow your pen?
- 32 I was impressed with your performance.
- 33 I think Nanchu needs a recycling Market.
- 34 Would you like to learn braille?
- 35 If you're interested, why don't you join us?
- 36 RRRRR... Hello?

- Sure. Here you are.
- Thank you. Did you like it?
- I think so, too. / I don't think
- I'd love to.
- Sure. / OK. /
- Hello. This is Kenji.

- 37 Hello. This is Fumie.
- May I speak to Ken, please?
- 38 Could you tell her to call me back?

- May I speak to Fumie, please?
- Sure. Just a minute.
- /I'm sorry, he's out.
- OK. I'll tell her.

- 39 What's this (和の漬物)? Explain in English.

- This is called a 'chawan'.
- It's used when you eat rice.
- It's a traditional Japanese art
- It's made of a piece of paper

- 40 What is Origami? Please explain.

会話テスト用 Q & A <2学期中間 (~Unit4. 1学期の範囲に加える) >

Q (カードの表)

- 41 What did you do yesterday?
- 42 Do you have any brothers or sisters?
- 43 What is your hobby?
- 44 How do you say おくり言 in English?
- 45 Have you ever been to Tokyo Disneyland?
- 46 Have you finished your homework yet?
- 47 Do you have a lot of work to do today?
- 48 I don't know what to do.
- 49 Is it difficult for you to speak English?
- 50 Please say hello to your parents for me.
- 51 Please help yourself.
- 52 Would you like some more?
- 53 Could you tell him to come to **'s house?
- 54 What shall we do this Sunday? Any ideas?
- 55 What do you need when you're thirsty?
- 56 Could you tell me how to get to Hiraizumi?

→A (カードの裏) 解答例

- I studied English.
- Yes, I do. I have one brother.
- My hobby is collecting cards.
- Could you speak more slowly?
- Yes. I went there this April.
- Yes, I have. / No, not yet.
- No, I don't. I'm free.
- Tell me about it. I'll help you
- No, it's not. It's easy!
- I will.
- Thank you.
- No, thank you. I've had plenty.
- Excuse me? Whose house?
- How about going to SATY?
- Something to drink. (water)
- Sure. Take the Tohoku Line.

<教科書>

カナダ人のエレンが、健の家に数日間滞在することになりました。
健はパンフレットを片手に、エレンと週末の予定を立てています。

Dialog

Ken: What do you want to do this weekend?

覚えたい語句

Ellen: It's hard to decide. Any ideas?

decide [disáid]

Ken: How about going to *rakugo*?

その他の語句

Ellen: Well, it's difficult for me to understand Japanese.

Ellen [élan] エレン [名]

● 対話をかえてみよう

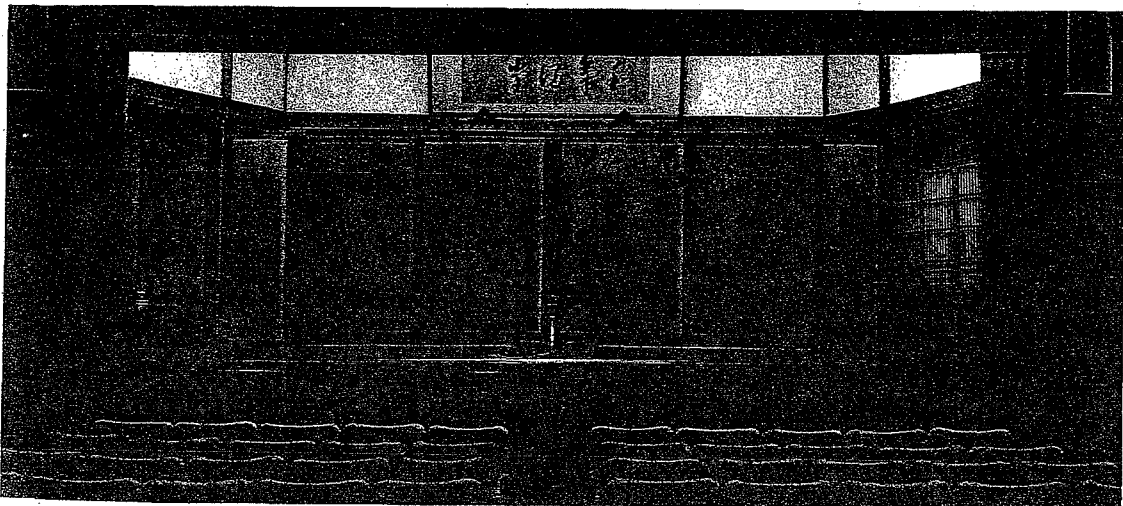
Ken: Don't worry. This *rakugo* is in English.

① *kabuki*

Ellen: Oh, good!

② You can enjoy

watching the actions.



It is *difficult for me to understand Japanese.*

「It is ... (for + (人)) + to + 動詞の原形」で、

「((人)にとって)~するの...です」

という意味になる。

→ 1. *easy / Mark / speak English* 2. *important / us / help old people*

▶ Your Turn 下の語句を使って、例のように対話をしてみよう。
また、ほかにも話題を考えて対話をしてみよう。

例 A: Is it easy for you to wake up early?

B: Yes. It's easy for me to wake up early.

[No. It's not easy for me to wake up early.]

• *easy / hard*

• *wake up early / write letters / remember names*